

令和6年度

校長室だより1月号 No.9

宝達志水町立押水第一小学校 R7.1.15

本年もよろしく申し上げます

新年あけましておめでとうございます。無事に令和7年を迎えることができ大変嬉しく感じているところです。

思い返せば、昨年のお正月に私たちのふるさとを襲う「能登半島地震」がありました。これまでに経験したことのない揺れで、大変な恐怖を感じましたが、当時マチコミを介して児童とご家族の無事を確認できてほっとしたことが昨日のこのように思い返されます。とはいえ、甚大な被害が能登地方全域に及び、本町におきましても被害を受けられた方が多数おいでになり、復旧・復興はまだまだ道半ばであることに変わりはありません。被災された方々には、謹んでお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧をお祈り申し上げますばかりです。

昨年の経験から「平穏な日常が何よりも貴重」ということが身に染みた思いです。冬休み中に大きな事故などもなく、児童全員が無事に3学期を迎えることができ、1月8日の始業式に元気な児童の顔を見ることがこれほど嬉しいことだったのかと、昨年度に引き続き実感いたしました次第です。

さて、3学期の始業式ですが、私は子どもたちに次の3つのことについて話をしました。

1点目は「健康・安全に過ごしてほしい」ということです。地震はもちろんのこと、大雪・暴風雪による備えも重要です。また、冬はインフルエンザや新型コロナウイルスの流行期でもあります。「万が一のときに落ち着いて行動したり、毎日の健康管理をしっかりとしたりしてほしい」と話しました。

2点目は「この3学期が終わったあと、全員が新しい学校で新しい仲間たちと過ごすことになる」ということです。6年生は町内5校の卒業生が進学する宝達中学校で学ぶこととなります。1年生～5年生は近隣の3校が統合されて押水小学校で学ぶこととなります。「新しい学校で新しい仲間と楽しくしっかりと学んでいくためにも、3学期は今の学年の学習の復習やまとめをより一層頑張してほしい」と話しました。

3点目は「いよいよ3月22日に閉校式・閉校式典が行われる」ということです。児童が通うこの押水第一小学校は、60年間、地域の人たちがとても大切にしてきた学校で、閉校式や閉校式典にはきっとたくさんの人たちが来校するものと思っています。「どうか押水第一小60年の歴史の最後にふさわしい閉校式・閉校式典にしてほしい」と話しました。

新しい年を迎えて「今年も頑張ろう」という気持ちで登校してきた子どもたちが、表情をより引き締めながら聞いてくれた様子でとても嬉しかったです。

保護者・地域の皆様におかれましては、3学期も押水第一小学校の教育活動にご支援とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

教職員アンケート結果

12月に学校評価の保護者アンケートおよび児童アンケート、教職員アンケートを実施いたしました。このうち教職員アンケートの結果を以下にお示しいたします。教職員アンケートは押水第一小学校教職員の今年度の取組に関する自己評価です。

先生方におきましては、評価項目や評価の観点を年度当初から意識して各活動に取り組んでいただき、多くの項目で肯定的回答の割合が100%となりました。また、昨年度にポイントが低かった項目にも留意してもらったことで肯定的回答の割合が増加いたしました。

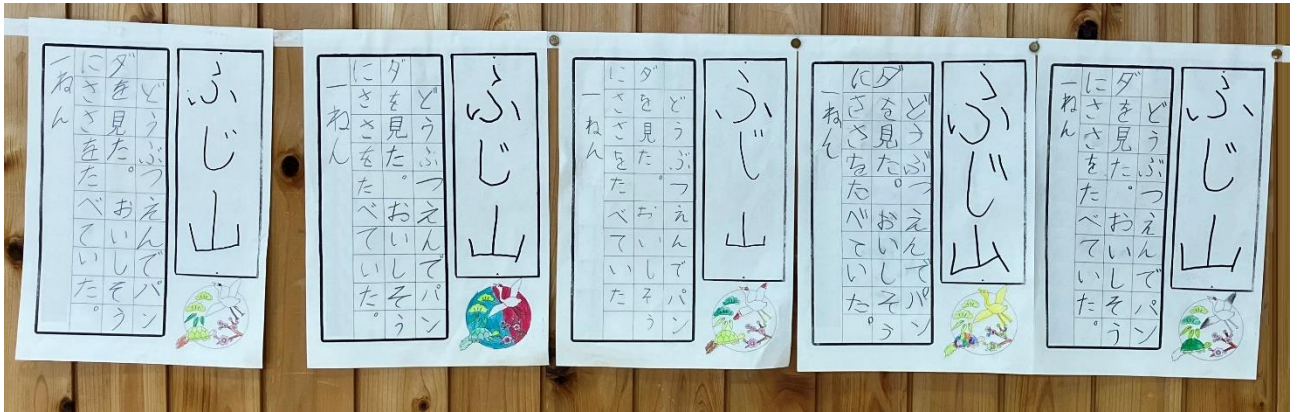
一方、4「一人一人の様子を見取る」につきましては肯定的回答の割合が若干下がりました。小学校の統合まであと3ヶ月となったこの3学期、一人一人の児童が新しい学校への不安を少しでも取り除き、自信を持って次の学校へ行けるよう、教師全員で全ての児童をしっかりと見ていく姿勢を今一度職員で共通理解して対処して参ります。

保護者アンケートおよび児童アンケートの結果につきましては、次号で紹介いたします。

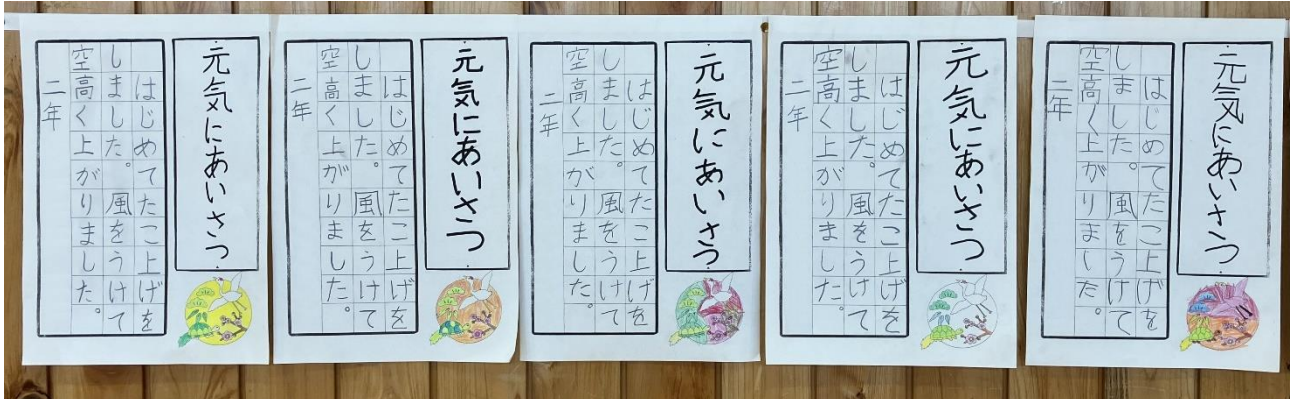
		評価の観点	肯定的回答の割合	令和5年度の割合	増減			評価の観点	肯定的回答の割合	令和5年度の割合	増減
確かな学力の育成	1	朝学習やドリルタイムでは提案された内容を計画的に実施している	100	100	→	家庭・地域との連携に向けて	18	学級だより等を通して学校や学級の様子を知らせている	100	100	→
	2	ロードマップに沿った学力向上対策を実施している	100	83	↑		19	ホームページの更新により情報発信が行われている	100	100	→
	3	ゴールの姿をイメージして授業している	100	100	→		20	家庭や地域からの声を適切に受け止め、学級や学校の運営に生かそうとしている	100	100	→
	4	授業や補充学習等で、一人一人の様子を見取り、対処している	89	100	↓		21	保護者との連絡を密にし、保護者との信頼関係を築くよう努めている	100	100	→
	5	家庭学習の内容や仕方を指導している	100	100	→		22	児童の地域等(PTA活動 地域行事)への参加を呼びかけている	100	71	↑
チーム学校力の充実	6	校内研修会やOJTが計画的に行われている	100	100	→	学習指導要領に 関	23	道徳の授業の充実を図っている	100	100	→
	7	役割と責任を完結できるように校務の運営を行っている	100	100	→		24	外国語の学習に積極的に取り組んでいる	100	83	↑
	8	自分の校務に関する効率化を図っている	100	100	→		25	GIGAスクール構想の実現に向けて積極的に実践を積み重ねている	100	100	→
	9	外部人材を活用している	100	86	↑	育若 成手	26	若手育成プログラムは計画的に実施されている	100	100	→
	10	保育所・小中学校の連携が図られている	100	57	↑	校務 分掌に 関 する 項 目	27	読書活動を推進し、読書量増加につなげている	100	100	→
	11	管理職への報連相の徹底を意識して行っている	100	86	↑		28	アンテナを高くし、児童の変化を見取り適切に対応している	100	100	→
	12	全職員が助け合い・連携し合いながら協働的に仕事をしている	100	100	→		29	生徒指導主事を中心とした組織的な対応が取られている	100	100	→
	13	PDCAサイクルを意識した学校運営が行われている	100	100	→		30	いじめを生まないために、児童相互のよりよい人間関係づくりに努めている	100	100	→
	14	校内研修(学校研究含む)は授業改善や教師の力量の向上につながっている	100	100	→		31	生活目標に対して、具体的な取組をしている	100	100	→
	15	職員は意欲的に校内研修に関わっている	100	100	→		32	食育を行い、給食指導をしている	100	100	→
	16	時刻を区切り、適正な勤務時間としての働き方ができている	100	100	→		33	清掃指導をしている	100	100	→
	17	適正な勤務時間で働くことができる環境を整えている(取組 方策 環境整備 等)	100	100	→						

○書初め作品（1～2年生）

一年生

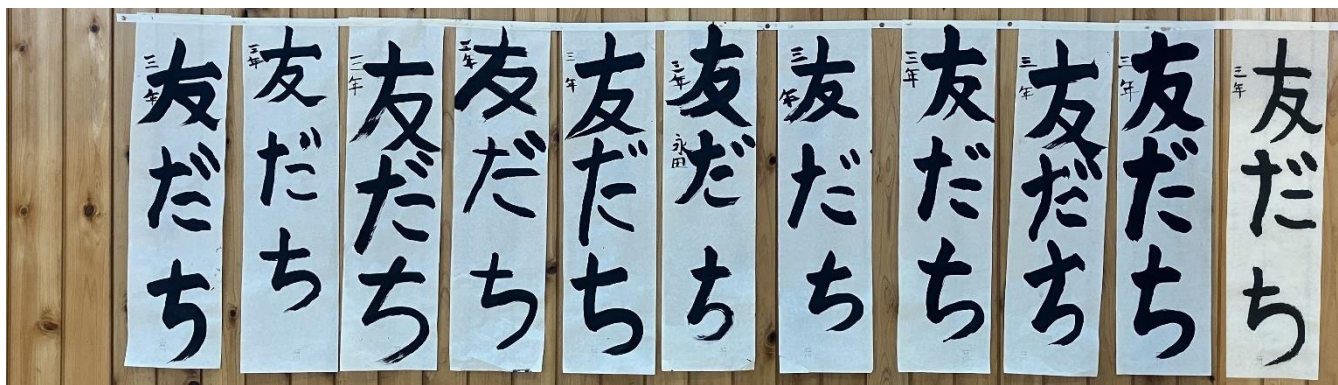


二年生



○書初め作品（3～6年生）

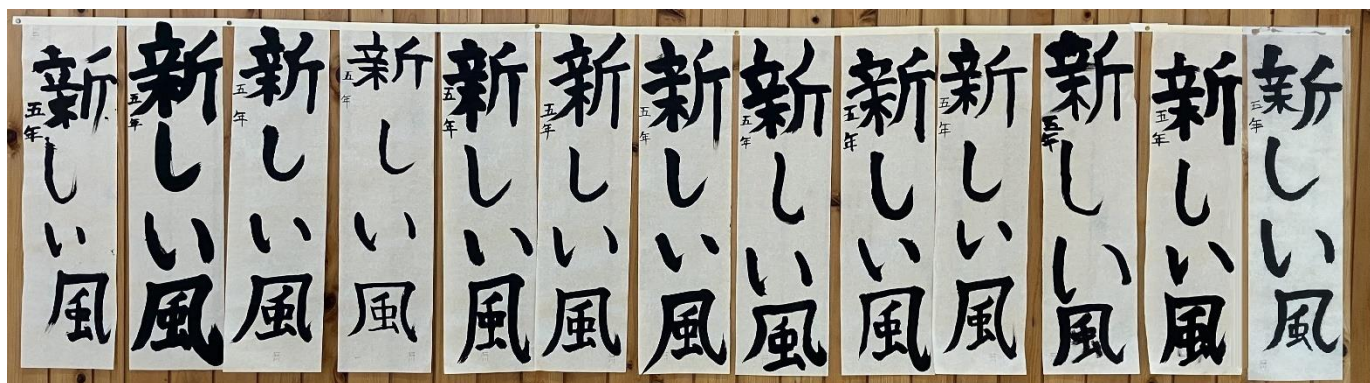
三年生



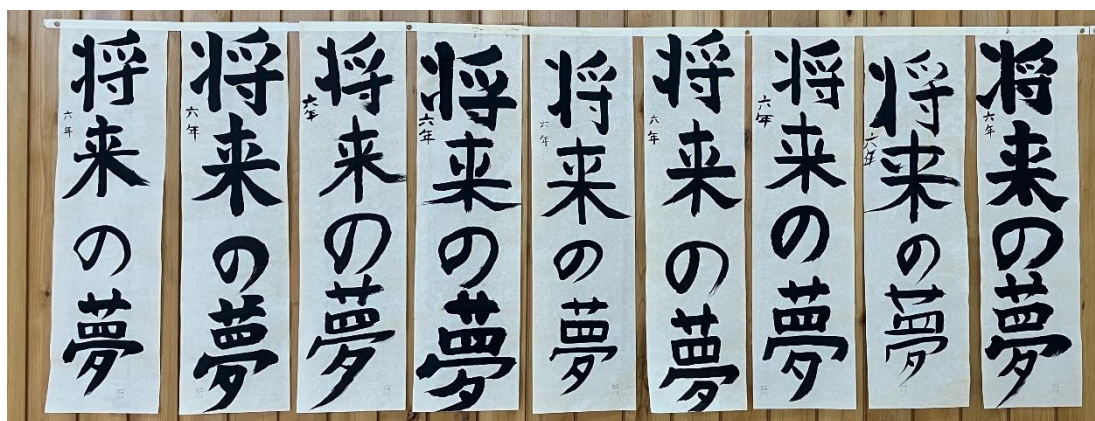
四年生



五年生



六年生



書道の英訳は“calligraphy”です。“calligraphy”には、文字を美しく書く学問という意味がありますが、日本の書道は、そこに芸術性や精神性をも見出している点において傑出しているのではないのでしょうか。日本人としてこれからも大事にしていきたい伝統の一つです。